

平成 21 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1473600540	事業の開始年月日	平成15年3月1日	
		指定年月日	平成15年3月1日	
法人名	社会福祉法人豊笑会			
事業所名	弥生台グループホーム			
所在地	(神奈川県) 横浜市泉区弥生台55-62			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
	<input type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	定員計	18名	
		ユニット数	2ユニット	
自己評価作成日	平成21年10月31日	評価結果 市町村受理日	平成22年1月12日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ケアの基となるケアプランを、全職員がセンター方式を理解習得し、全員参加のカンファレンスを行い、皆で作りに上げています。また、開所当初から全ての職員が委員活動(*食事研究会：献立作成、カロリー・塩分計算、行事食の検討 *行事研究会：日々のレクリエーション、季節行事や外出行事、ご家族招待行事の検討と企画 *園芸研究会：花壇の花や畑に植える野菜の検討、ホーム内に飾る花や観葉植物の検討 *ファミリー・ボランティア研究会：ご家族への新聞やお便りの発行、ボランティアさんとの連絡調整)を自主的に運営することで「皆でより良いケアをしていこう」、「皆でより良いホームを作っていこう」という気持ちを持ち続けていられるのだと思います。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社R-CORPORATION		
所在地	横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8 SYビル2F		
訪問調査日	平成21年11月12日	評価機関 評価決定日	平成21年12月25日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

このホームの特長は
 ①1つはこの立地条件、住環境の良さである。駅から徒歩7~8分の住宅地にあり、駅からも商店街からも近いように近くには畑がある素晴らしい環境と平屋2棟による2ユニットの建物は広い庭、各ユニットの中庭とゆったりと作られており、犬やアヒルがいてゆったりとした作りとなっている。ホームの夏祭りでは、庭に100人以上が入って流しソーメンが行えること。エントランスの広さなどもグループホームと思えない広々とした良い施設である。
 ②地域とのかかわりについては、理念の中に「地域に開かれたホーム」をうたい、地域との交流の具体例としては老人会への参加と併せて老人会の方の来訪を企画し、来やすいように日程し(第4日曜日)を設定し、老人会に回覧してもらいお招きしたり、保育園との交流については、第2、第4木曜日に行き来し、(最近はADLが低下して、来て頂くことが多い)子どもとの交流を楽しんでいる。又、ボランティアは地元の方のご協力で順次ふえて、沢山の方が団体で個人で来てくれて楽しませてくれている。
 ③法人として職員の意向の吸い上げに熱心であり、職員会議を中心とした意見を法人グループホーム連絡会(管理者、リーダーで構成)、法人連絡会(役員、管理者で構成)で取り上げるよう努めている。研究会活動も盛んで、一人最低一つの研究会に入り、改善に取り組んでいる。
 ④アセスメント及びモニタリングについては、センター方式に真正面から取り組み、継続し、全利用者にこの方式でのアセスメントによって更に本人に合った介護計画を作り支援している。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	弥生台グループホーム
ユニット名	清泉館

V アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が
	○ 2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○ 1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念に基づき、ご利用者が安心、安全、安定した毎日が過ごせるよう管理者、職員ともに共有し、実践している。	理念の基盤を「利用者第一」と併せて「地域に開かれたホーム」に置き、こてを中心とする展開を図っている。理念に基づき、ご利用者が安心、安全、安定した毎日が過ごせるよう管理者、職員ともに共有し、実践すると共に地域との密着に努めている。	今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	弥生台自治会に加入させていただき、地域行事に参加したり、近くの保育園と交流させていただいたりしている。	弥生台自治会に加入し、地域行事に参加したり、老人会へも参加し、老人会メンバーは何も無いと来にくいと考え、第4日曜日に見学日を設定し、回覧してもらい、町内会長、老人会長が率先して来て頂いた。また近くの保育園と第2、第4木曜日に交流している。	今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	弥生台自治会の老人会で、グループホームについてのお話や、介護、福祉についてのお話をさせていただいている。また地域の中で、認知症サポーター養成講座を開催している。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、地域住民の方々やご家族、行政職員、地域包括職員、ホーム職員など、多くの方々に参加していただき、より良いサービスを行えるよう、意見交換をしている。	運営推進会議は、町内会長、民生委員、ボランティア代表、ご家族、行政（泉区）職員、地域包括支援センター職員、ホーム職員など、多くの方々に参加していただき、テーマ（利用者・家族サイドのもの、地域、行政サイドのもの両方）を持って意見の交換を行い、より良いサービスを行えるよう努めている。	今後の継続
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	泉区サービス課の方々や地域福祉職員の方々と密に連絡を取り合いながら、協力関係を築いている。	泉区サービス課の方々や地域福祉職員の方々と密に連絡を取り合いながら、協力関係を築いている。区のグループホーム連絡会、研修会、個別の問題等について泉区は熱心であり有難いと思っている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員会議やケアカンファレンスの場で、常に身体拘束を行わないことを話し、身体拘束をしないで事故に繋がらないようなケアの方法を皆で検討している。各ユニットの鍵は極力しないように努め、中庭や裏庭には自由に出入りできるようにしている。	職員会議やケアカンファレンスの場で、常に身体拘束を行わないことを話し、身体拘束をしないで事故に繋がらないようなケアの方法を皆で検討している。各ユニットの鍵は極力しないように努め、中庭や裏庭には自由に出入りできるようにしている。毎日の掃除の時間は鍵をオープンにしており、閉塞感の無いケアを心がけている。	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	虐待防止関連の研修会に参加したり、常に職員会議で虐待が起きないように話し合いの機会を作っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	泉区地域保健福祉事業の委員として活動させていただいたり、成年後見制度についての講習を受け、ご家族からの相談にもその都度対応している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書に判りやすく示し、契約時や退居される際には、十分な説明を行い同意を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご利用者やご家族が不満や不安なこと、愚痴などを気楽に職員や管理者に言えるような雰囲気や機会を作るようにしている。	ご利用者やご家族が不満や不安なこと、愚痴などを気楽に職員や管理者に言えるような雰囲気や機会を作るようにしている。具体的には家族会、イベント時、来訪時のお話しの中で意向を汲み取り対応していくよう努めている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員からの意見を聞き、それらが可能な限り取り入れられるよう、話し合いの機会を作っている。	職員の意見を聞く体制としては、ホームに於ける職員会議をベースとし、これの上部機関として法人グループホーム連絡会（管理者、リーダー）、更に法人連絡会（役員、管理者）があり、職員の意見を可能な限り取り入れられるよう、話し合いの機会を作っている。	今後の継続
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員一人一人の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が誇りを持って仕事ができるよう職場環境を整えるよう努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	介護福祉士やケアマネジャーなどを目指し、向学心を持って仕事ができるようサポートしている。また法人内での研修会を開催している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	泉区ケアマネジャーの勉強会に参加したり、横浜市グループホーム連絡会に加入し、グループホーム間での勉強会や現場研修に参加し、意識を高めている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご入居に至るまでに、ご本人とお会いし、直接ご本人からお話をお伺い、不安なことや要望などを聞き出す努力をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学、聞き取り、ご本人やご家族からのアセスメントなど、ご入居されるまでに何度もお話を伺い、不安なことや心配なことなどを聞き出すようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人やご家族の現状をよく伺い、他のサービス利用も含め考えたうえで、対応のご相談にあたっている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒にお掃除やお洗濯をしたり、またお料理を教えていただいたり、日常生活を共にすることで、お互い支え合う関係を築いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の親を思う気持ち、今までのご苦労や戸惑いなどを理解したうえで、一緒にご本人を支えあっている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方やご友人の方々が来やすいような雰囲気を作ったり、時には電話をかけたり、お便りを出せるよう支援している。	横浜市は広域であるため、暮らしていた場所へ気軽に行ける状況では無いが、ご家族による同伴外出などもお願いしている。馴染みの方やご友人の方々が来やすいような雰囲気を作ったり、時には電話をかけたり、お便りを出せるよう支援している。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	誤解されることが無いよう、ぶつかり合ったり、孤立されることが無いよう、職員が間に入り、必要とあれば個別ケアを適時行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても、ご本人やご家族が必要とされる場合は、情報を提供したり、ご相談にのるなど、それまで築き上げた関係を大切にしている。		
Ⅲ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人からのアセスメントやご家族からの聞き取り、或いは常日頃ご本人がふともらされる言葉、職員の観察などから、心の内、思いや願いをくみとるよう努めている。	このホームではセンター方式による全員の個別のアセスメントがルーチンで実施されており、ご本人からのアセスメントやご家族からの聞き取り、或いは常日頃ご本人がふともらされる言葉、職員の観察などから、心の内、思いや願いをくみとり、介護計画に反映出来るよう努めている。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご入居される際、事前に把握できる事柄を収集し、今までの暮らし方や生活環境が大きく変化し、困惑されることが無いよう支援している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	お一人一人の心身の観察やバイタルチェックを行うと共に、心の変化を見落とさないよう、職員全員で総合的に判断している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人の思いや願い、ご家族の希望などをくみとり、全職員がカンファレンスに参加し、介護計画作成に関わっている。	このホームではセンター方式による全員の個別のアセスメントがルーチンで実施されており、日頃のモニタリングによりご本人の思いや願い、ご家族の希望などをくみとり、全職員がカンファレンスに参加し、介護計画作成に関わっている。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日各人の様子や生活状況、バイタルチェックなど細やかに観察し、記録することで職員間で情報を共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	同一法人の車両を利用したり、行事の際にはボランティアとして協力してもらったり、他施設の見学を希望される場合は、その都度対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会長さん、民生委員さん、ボランティアさんなど、数多くの方々が来訪されサポートしてくださっている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人やご家族の希望されるかかりつけ医を大切にし、受診される際には、日頃のバイタルの記録や生活の様子、身体の様子などをお伝えするようにしている。	医療についての対応は近くのともろクリニックにより医療連携は充実しているが、ホームのポリシーで医療連携体制加算はとっていない。ご本人やご家族の希望されるかかりつけ医を大切にし、受診される際には、日頃のバイタルの記録や生活の様子、身体の様子などをお伝えするようにしている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	協力医療機関の看護師さんが相談に乗ってくださったり、また薬については薬剤師さんが相談にのってくださっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時、入院中、退院時には、必ずご家族と共に医師とのカンファレンスに参加させていただき、一緒にご本人のためのお話をさせていただいている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご入居時にご家族や、可能であればご本人と共に、重度化や終末期についての話し合いを十分に行い、その時期が来た場合は医療関係者やご本人、ご家族、職員と共に対処を検討している。	ご入居時にご家族や、可能であればご本人と共に、重度化や終末期についての話し合いを十分に行い、その時期が来た場合は医療関係者やご本人、ご家族、職員と共に対処を検討している。医療連携体制を敢えてとらないことで、ご家族との話し合いはより多くしている。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故発生時の対応や急変時の救急対応、連絡方法などのマニュアルを作って、誰もがきちんと対応できるようにしている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	ホームでの防災訓練だけでなく、自治会の防災訓練にも参加して、万一の場合に備えている。	ホームでの防災訓練だけでなく、自治会の防災訓練にも参加して、万一の場合に備えている。情報公表の調査で研修、訓練の実施状況が確認出来ている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩としての敬意を常に持ち、傾聴を心掛け、プライバシーに配慮しながら対応している。	サービス規程に人格の尊重とプライバシーの確保について規定し、新入社員の受け入れ時には充分研修し確認している。利用者を人生の先輩としての敬意を常に持ち、傾聴を心掛け、プライバシーに配慮しながら対応している。	今後の継続
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員とゆっくりお話できるような個人対応の機会を作るよう配慮し、それぞれのご利用者の願いや思いを受止め、支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日のご利用者一人一人の身体状況や気分に合わせて、柔軟に対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	希望されるご利用者には、訪問理美容を利用させていただいたり、行きつけのお店に行っていたりしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご入居者一人一人の好みや苦手な食べ物を把握しており、そのつど臨機応変で対応している。また食べやすい形状や味付け、盛付などにも気を使っている。それらの調理や配膳、後片付けなども一緒に行っている。	開所以来、独自メニューを一緒に考えて作ることを継続している。職員による食事研究会はこの独自メニューの必要性と推進を行っている。ご入居者一人一人の好みや苦手な食べ物を把握しており、そのつど臨機応変で対応している。また食べやすい形状や味付け、盛付などにも気を使っている。それらの調理や配膳、後片付けなども一緒に行っている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量，食事形態など各人に合わせた対応のほか、器の工夫や食事時間をずらすなど、一人一人に合った支援をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアは、毎食後全ての方々に行っており、介助が必要な方には職員がついて支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	それぞれの排泄チェックを行い、排泄リズムやパターンをしっかりつかみ、少しでも失敗を減らし、快適な生活が送れるよう支援している。	バイタル・チェック表により、それぞれの排泄チェックを行い、排泄リズムやパターンをしっかりつかみ、少しでも失敗を減らし、快適な生活が送れるよう支援している。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	寒天ゼリー，プルーン，ヨーグルト，バナナなど各人に合ったものを用意したり、腹部マッサージや外出レクなど、予防に気を配っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	対人関係や入浴順にも配慮し、希望される方には、マンツーマンで入浴していただいている。	対人関係や入浴順にも配慮し、希望される方には、マンツーマンで入浴していただいている。 全介助、3人体制でないと入浴出来ない方のためにシャワーチェアを購入し、月1～2回は3人体制での入浴も支援している。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	睡眠チェック表を毎日記録し、各人の睡眠リズムやパターンを把握して、快適で十分な睡眠が取れるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	それぞれの薬について、常に新しい用法、用量、副作用などの載った処方箋を、各個人ファイルで管理し、見やすい所に保管している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	動物好きの方、お花の好きな方、散歩の好きな方、掃除や料理が好きな方など、それぞれの楽しみ事が活かされるよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出のほか毎日交替で、犬の散歩に行っていたり、ホーム中庭や裏庭へは好きな時に出入りできるよう支援している。またご家族とお墓参りや外食、旅行などに出掛けられるような機会作りを支援している。	外出のほか毎日交替で、犬の散歩に行っていたり、ホーム中庭や裏庭へは好きな時に出入りできるよう支援している。またご家族とお墓参りや外食、旅行などに出掛けられるような機会作りを支援している。保育園との交流、研修生との散歩、隣の老健にヨーカドーの出張販売があるときの買い物ツアーなど出来る限りの支援を行っている。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お買物の時や外出行事のときには、お一人お一人自分でお金を持っていただいて、自分で好みの物が買えるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望される時には、電話をかけたり、ご家族やご友人にお便りを書かれるような支援をしている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホームの中でも季節が感じられるよう花を飾ったり、ご利用者の皆さまと一緒に作った作品や行事の写真など数多く飾っている。	ホームの中でも季節が感じられるよう花を飾ったり、ご利用者の皆さまと一緒に作った作品や行事の写真など数多く飾っている。装飾は利用者を巻き込んで行っているため、ユニットのADLの差は出るものの、一緒に楽しんで行っている。	今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂の他にも広いリビングや玄関ホールなどがあり、ゆったりとくつろげるようになっている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今までに使い慣れた家具や寝具のほか、ご家族の写真や懐かしい飾り物などを置いて、安心して過ごせる空間作りをしている。	今までに使い慣れた家具や寝具のほか、ご家族の写真や懐かしい飾り物などを置いて、安心して過ごせる空間作りをしている。	今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下や風呂場、トイレなどの手摺りをはじめ、少しでも安全で長く自立した日常生活が送れるよう工夫している。		

事業所名	弥生台グループホーム
ユニット名	正泉館

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念に基づき、ご利用者が安心、安全、安定した毎日が過ごせるよう管理者、職員ともに共有し、実践している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	弥生台自治会に加入させていただき、地域行事に参加したり、近くの保育園と交流させていただいたりしている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	弥生台自治会の老人会で、グループホームについてのお話や、介護、福祉についてのお話をさせていただいている。また地域の中で、認知症サポーター養成講座を開催している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、地域住民の方々やご家族、行政職員、地域包括職員、ホーム職員など、多くの方々に参加していただき、より良いサービスを行えるよう、意見交換をしている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	泉区サービス課の方々や地域福祉職員の方々と密に連絡を取り合いながら、協力関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員会議やケアカンファレンスの場で、常に身体拘束を行わないことを話し、身体拘束をしないで事故に繋がらないようなケアの方法を皆で検討している。各ユニットの鍵は極力しないように努め、中庭や裏庭には自由に出入りできるようにしている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止関連の研修会に参加したり、常に職員会議で虐待が起きないように話し合いの機会を作っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	泉区地域保健福祉事業の委員として活動させていただいたり、成年後見制度についての講習を受け、ご家族からの相談にもその都度対応している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書に判りやすく示し、契約時や退居される際には、十分な説明を行い同意を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご利用者やご家族が不満や不安なこと、愚痴などを気楽に職員や管理者に言えるような雰囲気や機会を作るようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員からの意見を聞き、それらが可能な限り取り入れられるよう、話し合いの機会を作っている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員一人一人の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が誇りを持って仕事ができるよう職場環境を整えるよう努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	介護福祉士やケアマネジャーなどを目指し、向学心を持って仕事ができるようサポートしている。また法人内での研修会を開催している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	泉区ケアマネジャーの勉強会に参加したり、横浜市グループホーム連絡会に加入し、グループホーム間での勉強会や現場研修に参加し、意識を高めている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご入居に至るまでに、ご本人とお会いし、直接ご本人からお話をお伺い、不安なことや要望などを聞き出す努力をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学、聞き取り、ご本人やご家族からのアセスメントなど、ご入居されるまでに何度もお話を伺い、不安なことや心配なことなどを聞き出すようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人やご家族の現状をよく伺い、他のサービス利用も含め考えたうえで、対応のご相談にあたっている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒にお掃除やお洗濯をしたり、またお料理を教えていただいたり、日常生活を共にすることで、お互い支え合う関係を築いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の親を思う気持ち、今までのご苦労や戸惑いなどを理解したうえで、一緒にご本人を支えあっている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方やご友人の方々が来やすいような雰囲気を作ったり、時には電話をかけたり、お便りを出せるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	誤解されることが無いよう、ぶつかり合ったり、孤立されることが無いよう、職員が間に入り、必要とあれば個別ケアを適時行っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても、ご本人やご家族が必要とされる場合は、情報を提供したり、ご相談にのるなど、それまで築き上げた関係を大切にしている。		
Ⅲ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人からのアセスメントやご家族からの聞き取り、或いは常日頃ご本人がふともらされる言葉、職員の観察などから、心の内、思いや願いをくみとるよう努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご入居される際、事前に把握できる事柄を収集し、今までの暮らし方や生活環境が大きく変化し、困惑されることが無いよう支援している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	お一人一人の心身の観察やバイタルチェックを行うと共に、心の変化を見落とさないよう、職員全員で総合的に判断している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人の思いや願い、ご家族の希望などをくみとり、全職員がカンファレンスに参加し、介護計画作成に関わっている。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日各人の様子や生活状況、バイタルチェックなど細やかに観察し、記録することで職員間で情報を共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	同一法人の車両を利用したり、行事の際にはボランティアとして協力してもらったり、他施設の見学を希望される場合は、その都度対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会長さん、民生委員さん、ボランティアさんなど、数多くの方々が来訪されサポートしてくださっている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人やご家族の希望されるかかりつけ医を大切に、受診される際には、日頃のバイタルの記録や生活の様子、身体の様子などをお伝えするようにしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	協力医療機関の看護師さんが相談に乗ってくださったり、また薬については薬剤師さんが相談にのってくださっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時、入院中、退院時には、必ずご家族と共に医師とのカンファレンスに参加させていただき、一緒にご本人のためのお話をさせていただいている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご入居時にご家族や、可能であればご本人と共に、重度化や終末期についての話し合いを十分に行い、その時期が来た場合は医療関係者やご本人、ご家族、職員と共に対応を検討している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故発生時の対応や急変時の救急対応、連絡方法などのマニュアルを作って、誰もがきちんと対応できるようにしている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	ホームでの防災訓練だけでなく、自治会の防災訓練にも参加して、万一の場合に備えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩としての敬意を常に持ち、傾聴を心掛け、プライバシーに配慮しながら対応している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員とゆっくりお話できるような個人対応の機会を作るよう配慮し、それぞれのご利用者の願いや思いを受止め、支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日のご利用者一人一人の身体状況や気分に合わせて、柔軟に対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	希望されるご利用者には、訪問理美容を利用していただいたり、行きつけのお店に行っていたりしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	ご入居者一人一人の好みや苦手な食べ物を把握しており、そのつど臨機応変で対応している。また食べやすい形状や味付け、盛付などにも気を使っている。それらの調理や配膳、後片付けなども一緒に行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量，食事形態など各人に合わせた対応のほか、器の工夫や食事時間をずらすなど、一人一人に合った支援をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアは、毎食後全ての方々に行っており、介助が必要な方には職員がついて支援している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	それぞれの排泄チェックを行い、排泄リズムやパターンをしっかりとつかみ、少しでも失敗を減らし、快適な生活が送れるよう支援している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	寒天ゼリー，プルーン，ヨーグルト，バナナなど各人に合ったものを用意したり、腹部マッサージや外出レクなど、予防に気を配っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	対人関係や入浴順にも配慮し、希望される方には、マンツーマンで入浴していただいている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	睡眠チェック表を毎日記録し、各人の睡眠リズムやパターンを把握して、快適で十分な睡眠が取れるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	それぞれの薬について、常に新しい用法、用量、副作用などの載った処方箋を、各個人ファイルで管理し、見やすい所に保管している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	動物好きの方、お花の好きな方、散歩の好きな方、掃除や料理が好きな方など、それぞれの楽しみ事が活かされるよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出のほか毎日交替で、犬の散歩に行っていたり、ホーム中庭や裏庭へは好きな時に入力できるよう支援している。またご家族とお墓参りや外食、旅行などに出掛けられるような機会作りを支援している。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お買物の時や外出行事のときには、お一人お一人自分でお金を持っていただいて、自分で好みの物が買えるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望される時には、電話をかけたり、ご家族やご友人にお便りを書かれるような支援をしている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホームの中でも季節が感じられるよう花を飾ったり、ご利用者の皆さまと一緒に作った作品や行事の写真など数多く飾っている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂の他にも広いリビングや玄関ホールなどがあり、ゆったりとくつろげるようになっている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今までに使い慣れた家具や寝具のほか、ご家族の写真や懐かしい飾り物などを置いて、安心して過ごせる空間作りをしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下や風呂場、トイレなどの手摺りをはじめ、少しでも安全で長く自立した日常生活が送れるよう工夫している。		

目 標 達 成 計 画

事業所 弥生台GH

作成日 H21年 11月 20日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	26	ご本人がよりよく暮らすために、センター方式を使い、全スタッフでケアプランを作成しているが、ご家族からのご意見やアイデアがなかなか聞き出せない。	ご本人、ご家族、全スタッフの思いや意見、アイデアをくみ取り、それらを生かした介護計画を皆で作成する。	ご家族に、出来上がった介護計画書をお渡しするだけでなく、皆で取組んでいるセンター方式のシートも見ていただくことで、ご本人の一日の過ごし方や心身状態を知っていただき、ご意見やアイデアを引き出す。	3 ヶ月
2	13	職場内外の研修や現場交換研修を、年間を通して行っているが、全スタッフが偏りなく参加することがなかなか難しい。	常勤、非常勤を問わず、様々な研修を受けることで、向上心を持って仕事ができるような職場環境作りを目指していく。	年間を通しての大まかな研修スケジュールを把握し、多くのスタッフが参加できるようにしていく。また、全スタッフが共有できるように、職場内の勉強会でそれらの研修内容を活用していく。	1年
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。